

● 地域活性化特別枠

草の根技術協力（地域活性化特別枠）事業概要

I. 事業の概要	
1. 国名	モンゴル国
2. 事業名	北海道滝川市発－地方農民の収入向上を目指したアグリビジネス振興プロジェクト（高付加価値作物の生産と新しい農産加工品開発）
3. 事業の背景と必要性	モンゴル国民の野菜摂取量は国連定義の半分に満たず、健康に悪影響を与えているが、農家所得の向上に繋がらないことから生産は伸びず、輸入野菜に頼っている現状である。また、同国ウブハンガイ県の平均農家収入は、同国一般家庭の半分に達しない状況であることから、農家所得向上が喫緊の課題である。農作適期が短く集中することが、野菜価格低下の原因であることから、加工による生野菜の流通量調整、加工備蓄の通年供給による加工製品の通年販売による農閑期の収入向上が強く求められている。
4. プロジェクト目標	農業普及員及び農民が、野菜栽培技術並びに野菜加工技術を習得し、農民の収入が向上する。
5. 対象地域	モンゴル国ウブハンガイ県
6. 受益者層（人数規模）	<直接受益者>モンゴル国ウブハンガイ県農業普及員等20名及びアルバイヘル村他2村の農家約70世帯 <間接受益者>ウブハンガイ県内19ヶ村の農家約1,000世帯
7. 活動及び期待されるアウトプット	<アウトプット> 1-1 対象地域の気候・土壌・食習慣等に適した野菜、その栽培方法にかかる調査を行う 1-2 対象3カ村にモデル農園を設け（うちアルバイヘル村の農園は育苗圃場を兼ねる）、栽培指導に必要な環境整備をする（井戸掘り、日光ハウス建設、灌水道具設置、苗の移植機、ハーベスター等の設置、土壌改良、防風林等） 1-3 農業普及員および対象村の農家に対する土地改良・野菜栽培技術の現地指導、及び本邦での研修を行う 1-4 農業普及員が対象3カ村の農家に対し各村に設置されたモデル農園において行う野菜栽培技術について、指導・助言する 2-1 対象地域の加工品及び加工技術の現状、ニーズ等の調査を行う 2-2 モデル加工室を設け、農産加工技術指導に必要な基盤整備を行う（機具設置等） 2-3 野菜加工技術の現地指導、及び本邦での研修を行う 3-1 対象地域の農産物及び農産加工品の流通・販売の現状を把握し、改善点を明らかにする 3-2 日本の流通形態、農民組織、行政等との連携について、受入研修で視察する 3-3 農産物加工品の適切な流通形態や行政との連携方法を現地指導する 3-4 加工品直売所の維持および運営管理を現地指導する（宣伝方法、ディスプレイ、パッケージ、商品管理、資金管理等）
8. 実施期間	2016年12月～2019年11月
9. 総事業費見込	56,269千円
10. 事業の実施体制	一般社団法人滝川国際交流協会が主体となり、滝川市及び農業関連団体の協力体制の下で実施する。
II. 実施団体の概要	
1. 団体名（提案自治体）	北海道滝川市
2. 対象国との関係、協力実績	2011年度から5年間、ウブハンガイ県に於いて稲作栽培等農業技術支援を行い、研修員の受入、専門家の派遣を行った。また、この事業から派生して2015年度は自動車整備技術研修員も約半年間受け入れた。